

シンボルマークについて



デザイン：島田康次氏 平成4年5月作成
基本色：みどり色 応用：緑地に白抜き

中心は「永」を八方に見る。外側は「光」を七方に見る。和して交わる中心の「S」は渋川の「渋」を表す。また、外側は地域社会であり、内側は永光会を意味し、永光会が地域社会とともに進み、地域福祉の拠点となる姿勢を表現している。

「永」の一字ですべての文字に共通する八種の運筆法があり「永字八法」といわれる。⇒「八方に見る」
「光」は太陽光七色のスペクトルを表す。⇒「七方に見る」

「みどり色」は法人基本理念「春風致和」の春風を表わす。

マスコットキャラクター



このキャラクターは、特別養護老人ホームの西側にあるブロック塀に書かれている壁画の一部です。上に描かれた部分の絵が永光会のイメージキャラクターです。

この壁画は、平成8年の夏休みに、永光荘の近くにある渋川市立古巻中学校の生徒さんが手分けをして仕上げたものです。

古巻中学校は、平成8年度から3年間「県社会福祉協力校」に指定されて以来、今日至るまで永光会との交流が続いております。